

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は9月29日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「～牛乳11週ぶりに前年を上回る～増加した需要を維持・拡大のため一層の需要喚起を～」

・9/12週の牛乳類の家庭内消費は、全品目総じて前週(9/5週)よりも販売個数が増加し、前年よりも上回る水準となった。牛乳はコロナ前の19年度実績と比較しても上回る水準となっている。例年よりも気温が高く、蒸し暑い日が多かったことのほか、関西以西の地域の伸び率が高いことを考察すると、大型の台風14号が週末にかけて上陸すると予測されていたなか、上陸前に食料品等を買ひに出かけたことが全体の消費を押し上げた可能性が推察される。

・ヨーグルト類も同様の要因が考えられ、全品目総じて前週よりも販売個数は増加、特にドリンクタイプは2年前の水準を上回り、大容量は今年度初めて前年を上回った。

・台風14号に備えた前倒しの購入により販売個数が増加したとすると、今週(9/19週)は週末の関東地区を中心とした天候不順も重なり、売れ行きに影響することが想定される。円安の進行や原材料価格の高騰等による物価高は消費者物価指数からも顕著に表れており、また10月からは多くの食品で値上げが予定されているため、家計防衛の意識の高まりは引き続き継続すると見込まれる。

・家庭内消費については、依然として厳しい販売状況が継続しているが、今後さらに低迷する可能性も見据えて業界全体で一層の需要喚起に取り組んでゆく必要がある。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

・直近(9/12週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同102.5%、成分調整牛乳：同100.6%、加工乳：同103.5%、乳飲料：同101.8%。

牛乳類トータルでは同102.3%

※参考：2020年度比は、牛乳：101.4%、成分調整牛乳：99.0%、加工乳：101.7%、乳飲料：89.0%(牛乳類トータル：99.3%)

※参考：2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は104.0%。

・販売単価は、牛乳：190.7円、成分調整牛乳：174.4、加工乳：191.4、乳飲料：150.6円。

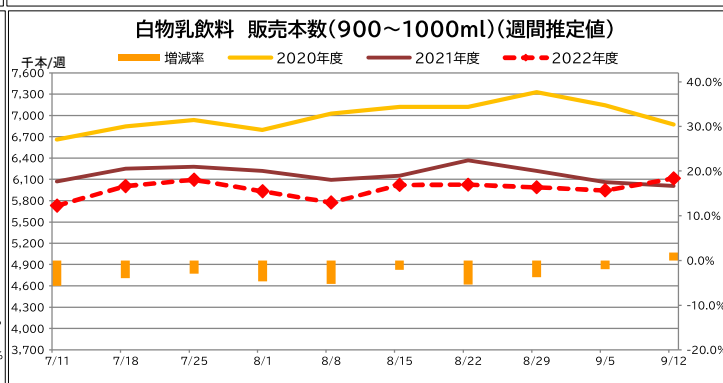
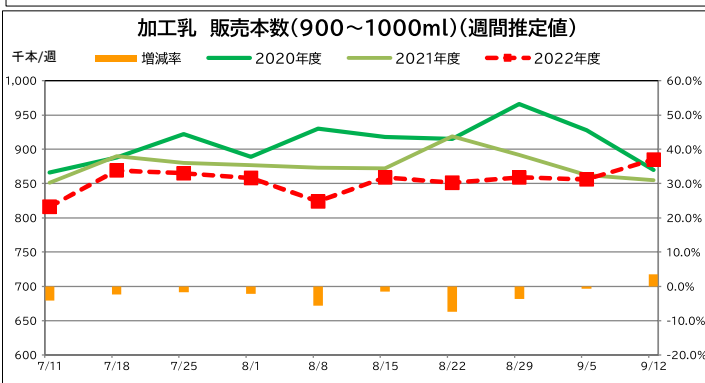
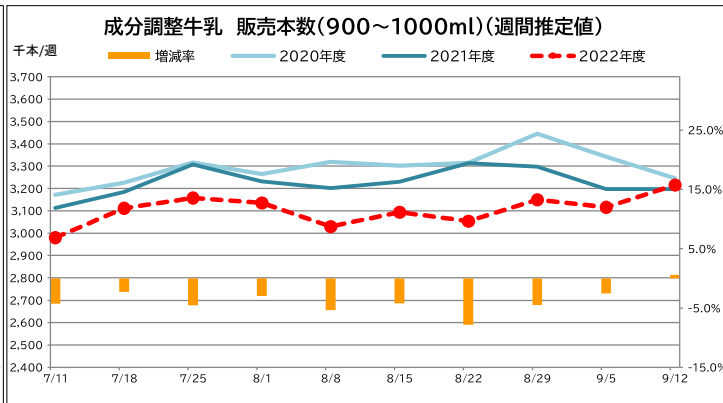
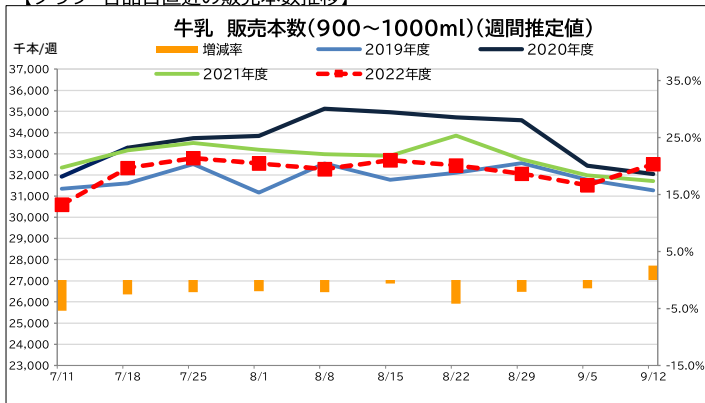
※出典 (株)インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-
トータル	販売個数	42,911	42,471	41,902	42,674	42,379	42,058	41,428	42,725
	販売個数前年比	97.6	97.6	97.1	98.9	95.3	97.5	98.4	102.3
	販売単価	183.1	183.8	184.2	183.5	183.4	183.5	183.3	183.8
牛乳	販売個数	32,795	32,546	32,274	32,700	32,450	32,062	31,512	32,511
	販売個数前年比	97.9	98.0	97.9	99.4	95.8	97.9	98.5	102.5
	販売単価	190.0	190.6	190.9	190.4	190.3	190.4	190.3	190.7
成分調整牛乳	販売個数	3,158	3,136	3,030	3,094	3,054	3,150	3,116	3,216
	販売個数前年比	95.5	97.0	94.6	95.8	92.2	95.5	97.5	100.6
	販売単価	174.5	174.3	175.1	174.6	175.0	174.2	174.5	174.4
加工乳	販売個数	865	858	824	859	851	859	856	885
	販売個数前年比	98.3	97.9	94.5	98.5	92.5	96.3	99.2	103.5
	販売単価	190.4	190.2	191.2	191.2	190.1	190.1	189.6	191.4
乳飲料	販売個数	6,093	5,931	5,773	6,021	6,025	5,987	5,944	6,113
	販売個数前年比	97.0	95.4	94.8	97.9	94.6	96.2	98.0	101.8
	販売単価	149.6	150.1	150.1	149.6	149.7	150.0	150.1	150.6

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(9/12週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同100%以上。

(2)全品目通じて販売個数が前週よりも増加し、ドリンクタイプと大容量タイプは前年を上回る水準となった。特に大容量タイプは、今年度初めて前年を上回った。

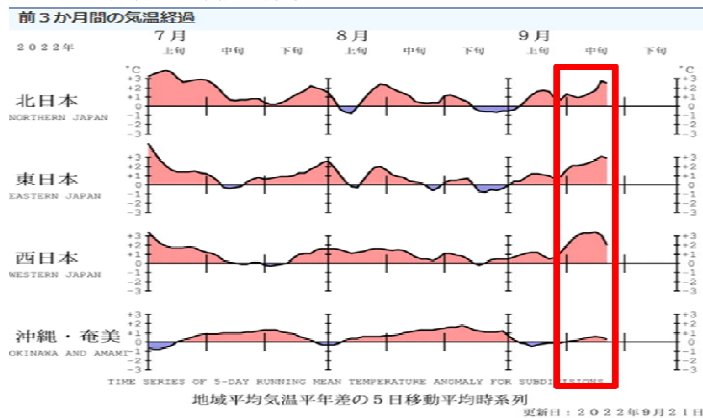
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	7.25-	8.1-	8.8-	8.15-	8.22-	8.29-	9.5-	9.12-
ドリンクタイプ	➡	➡	➡	➡	➡	➡	⬇	➡
個食タイプ	⬇	➡	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇
大容量タイプ	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	⬇	➡

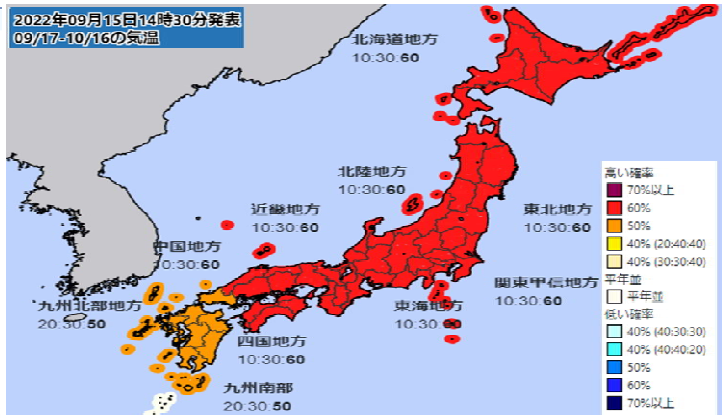
- ⬇ : 前年比90%未満
- ➡ : 前年比105%以上110%未満
- ⬇ : 前年比90%以上100%未満
- ⬆ : 前年比110%以上120%未満
- ➡ : 前年比100%以上105%未満
- ⬆ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※9/12週の気温経過 出典:気象庁



※向こう1ヶ月の気温予報(9/17~10/16) 出典:気象庁



※「2022年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」